

令和 8 年度 第 1 回総合教育会議 議事録

会議名称	令和 8 年度 第 1 回総合教育会議
開催日時	令和 8 年 8 月 3 日（月） 10 時 00 分～10 時 50 分
会 場	芦屋町 本庁舎 3 階 課長会議室
委員の出欠	【委員】 町 長 貝掛 俊之 〔出席〕 教 育 長 三桵 賢二 〔出席〕 教育委員 長戸 隆弘 〔出席〕 教育委員 井上 弘行 〔出席〕 教育委員 森山 真奈美 〔出席〕 教育委員 佐伯 慎也 〔出席〕 【委員以外の出席者】（オブザーバー） 副 町 長 吉永 博幸 学校教育課長 木本 拓也 生涯学習課長 水摩 秀徳 芦屋釜・歴史文化課長 新郷 英弘 【事務局】 企画政策課長 溝上 竜平 企画政策課 企画係長 松元 浩人 企画政策課 企画係 山崎 彩華
議題	1 芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書について 2 その他
合意・決定事項	○「芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書」の内容について了承される。 ○次回の会議は 2 月開催。次年度の取り組みについて説明予定。 緊急の事案があれば、その都度開催する。
傍聴者	なし

令和 8 年度 第 1 回総合教育会議 議事録

1 町長あいさつ

本日は大変お忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。

今年度初めての総合教育会議となり、議事は 1 点で芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書となっている。

よりよい教育行政の推進につなげていくため、皆さんの忌憚のない意見をお願い申し上げます。

2 議 題

(1) 芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書について

【資料 1】令和 7 年度芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書

【資料 2】令和 7 年度芦屋町教育大綱プラン（評価）

【資料 3】「令和 7 年度芦屋町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価」についての意見書

主に、学校教育に関する事項は三柵教育長、社会教育に関する事項は水摩生涯学習課長、歴史・文化に関する事項は新郷芦屋釜・歴史文化課長より説明。

【質疑・意見など】

〔委員〕

公民館講座について、具体的な参加者層などを教えていただきたい。

⇒〔生涯学習課長〕

60 代以上の方の割合が、比較的高いように見受けられる。当事業に関しては、年齢層に応じたさまざまなプログラムがあり、概ね 40 代から 70 代ぐらいの方々が対象となるように取り組んでいるところである。

また、参加者数について全体としては減少傾向にあるものの、講座によっては定員を超えるものもある。今後は質の評価を高め、ニーズに合わせた見直しを進めていきたい。

〔委員〕

現在も実施しているスマホ講座など、時代のニーズに合致した有意義な内容になっている。講座を再び受講する機会として、今後はオンライン開催などを検討してみてはどうか。

⇒〔生涯学習課長〕

検討させていただく。

〔委員〕

個人タブレットの持ち帰りにおける家庭学習等は、芦屋町独自の取り組みで大変効果的であると認識している。

園児において「語先後礼」の習慣が定着している印象を受けたが、保幼施設とも連携して推進されているのか。

⇒[教育長]

教育委員会から各保幼施設への直接的な依頼は行っていない。芦屋町のこれまでの長い取り組みの中で、身についているものではないかと認識している。

また、全庁的に広げていくため、教育委員会内では常に「語先後礼」を心掛けているところである。

[委員]

シビックプライドの醸成にある「はねそ」や「芦屋音頭」について、学校現場においてどのように継承・発展させていく取り組みを考えているのか。

⇒[教育長]

小学校では、運動会のプログラムの1つとして全校児童による踊りを取り入れ、学校全体で実践している。中学校では、運動会のプログラムとして以前は実施していたが、現在は実施していない。中学校においても、来年度以降のプログラムに追加する方向で検討をさせていただく。

[委員]

スタディ・ログについて、対象学年や活用教科など具体的な使い方を教えていただきたい。

⇒[学校教育課長]

全学年・全教科を対象としており、児童生徒ごとにアカウントを作成し小中学校9年間の蓄積データを確認できるようになっている。

[委員]

中学校進学時にタブレットが変わると思うが、学習データの引継ぎなど問題ないのか。

⇒[学校教育課長]

タブレットを変更しても、データはクラウド上に保存されているため問題ない。

[委員]

転校生についての対応（転入・転出時のデータ引き継ぎ）は想定しているのか。

⇒[教育長]

現時点ではそこまで把握していない。芦屋町は、ICT教育に関して他自治体と比較しても先駆けて推移していると認識しているが、さらなる充実に向けて今後の検討課題とさせていただく。

[委員]

各地域で共通の運用がなされているのであれば、そのデータを相互に共有・活用できる仕組みになればいいのではないかと思います。

卒業後の学習データは、生徒本人へ引き渡されるのかそれとも学校側が管理・保管し続けるのか。

⇒[教育長]

現時点では、現在は小中学校9年間の学習データの連携・蓄積にとどまっており、その先の活用や応用的な検討には至っていない。今後の検討課題とさせていただく。

[委員]

独立した鋳物師について、その後の活動状況を教えていただきたい。

⇒[芦屋釜・歴史文化課長]

現在、2名がそれぞれ独立し各人の工房で釜や小物品の制作・販売などを行っており、

後継者の独立後も同様の流れが想定される。後継者の自立が難しい場合は、既に独立した現職者と共同運営する可能性もあるが、現時点では不透明である。

[委員]

鋳物師後継者の確保とあるが、現在後継者として活動している人はいるのか。

⇒**[芦屋釜・歴史文化課長]**

1 名が後継者として、技術習得に励んでいるところである。また、独立した 2 名の下につけるといことで、現在もう 1 名の募集を行っている。芦屋町への移住が前提となっているため、インターンシップツアーの中で芦屋町の魅力を伝えながら、後継者の確保に向けて取り組みを進めている。

[委員]

芦屋釜の里は外部からの評判も高く、特に教育現場における児童生徒に向けた呈茶体験や卒業記念の錫の古印（印章）づくりなど、他町にはない取り組みも実施している。今後も継続していただきたい。

（３）その他

[事務局]

次回の会議は来年 2 月に開催予定で、次年度の取り組みについて説明予定。緊急の事案等が発生した場合は、適時開催させていただく。